



▲孔子の里獅子舞も参加した関西多久会総会



▲関西多久会総会でふるさと大使として任命

## 多久市ふるさと大使を任命

大都会で多久の情報発信します

多久市出身者でつくる『関西多久会』総会が11月13日大阪で開かれ、約90人が参加して故郷への思いを語り合いました。今回は会から推薦していただいた16人の方を、大都市での多久市の情報発信、観光客の誘致促進、観光振興につながるアイデア等をいただく『多久市ふるさと大使』として任命しました。同じように『関東多久の会』からも14人にふるさと大使をお願いしています。

30人の『多久市ふるさと大使』と宝塚歌劇団星組の夢乃聖夏さんの『多久市観光大使』、観光キャラクター・多久翁さんを『多久市観光公使』として、多久市観光のPRを図っていきます。

## 日頃の感謝を込めて花束を贈呈

市内の保育園児が勤労感謝の訪問

勤労感謝の日を前に11月21日、市内11の保育園児のみなさんが市役所を訪れ、日頃の感謝を込めて横尾市長に花束を贈呈しました。

「いつもお仕事がんばってくださってありがとうございます」と園児たちの元気なあいさつを受けて、横尾市長は「ありがとうございます



います。みなさんのお父さんやお母さんも頑張っておられます。これからもお仕事がんばります」と笑顔で園児たちに言葉をかけ、お礼に折り紙セットを手渡しました。



▲日頃の感謝を込めて市長に花束を贈る園児

## 師走の忙しい時期でも“火の用心”を

多久ロータリークラブの森上正成会長ら3人が市役所を訪れ、「火の用心」のチラシ8,000枚を横尾市長、百崎善夫多久消防署長、陣内成和多久市消防団長に贈呈しました。県内のロータリークラブでこの活動をしているのは多久だけで、20年以上も続いています。森上会長は「目につくところに貼って、火災予防に役立てて欲しい」と話しました。チラシは消防団を通じて、市内全世帯に配布されます。



12/2

## 早くきれいな花が咲きますように

東部小5年生と鉄道OB会のみなさんが、駅周辺美化のため、JR東多久駅でチューリップの球根約1,000個の植え付けを行いました。児童は「駅の利用者に喜んでもらえるように、早く咲いてほしい」と気持ちを込めて一生懸命に作業を進めていました。この活動は今回で15回を迎え、鉄道OB会の渋谷初實さんは「地域の方がお世話の協力を申し出てくれることもあります」と話し、活動を通して温かい交流の輪が広がっています。



11/22